

事故例で万全の準備

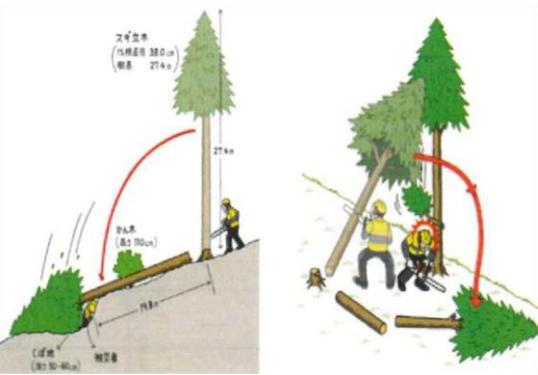
作業中に怪我や事故になることを避けるためにも、事故の例を知ること、防げることがあります。“絶対”ということありません。一番大切なのは、安全に行えるかどうかです。事故例を参考に、見直していきましょう。



- 道具で手足を切る
- 置いた道具に気付かず手足を切る
- 道具運搬中に手足を切る



- 刈払い作業中のキックバック、石の飛び跳ね、刃の破損による自分や他人に当たる怪我
- チェーンソー作業中のチェーン切れや、無理な引き伐りで、自分や他人による怪我



- 熱射病になる
- 枝先が目に入り怪我
- 斜面上作業の木材、石が落ちてきて怪我
- 伐倒中の木に当たって怪我
- 枝払いや玉伐り中に跳ねた木に当たる
- かかり木の処理中に自分や他人が怪我
- 枝打ち作業中の転落による怪我
- 合図や声がけ不足による怪我

依田林業新聞

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

森と水の関係



前向きになれる一言
「しなければならぬ」と思うと、つまらなくなる。「してみたい」と思うと、勇気が湧いてくる。

モンベルロガーキャ
リア軽くて便利！！



保全作業を行っている林業労働者、関係者は、地球のため、日本のため、人のため、動物のため、水のため、森林のため、未来のために働いています。自分が誰かのために役に立つ。これこそが、地球の平和を守る、人が生まれてきた意味なのかもしれません。